



今、全国各地の紙面に、「ほもと」が登場しています。熊本に住む私たちにとって、「ほもと」が、外部からどのように見られているか、興味のあるところ。全国で、また、海外でも話題になっている「ほもと」を紹介します。

論 説

天皇陛下を迎えて熊本阿蘇町「みんなの森」で開かれた第三十六回全国植樹祭に出席した。十二日の日曜日、十万六千三百平方メートルの会場に集まった一万二千人の参加者は阿蘇の火山灰を浴びながらケヤキ、山桜、エノキなど三十六種類の苗木を記念植樹した。県は六十二年五月に第三十八回植樹祭を迎える。場所は藤津郡嬉野町。すでに県庁内に準備室ができて、内山事務局長以下十五人の専従職員が準備に当たっている。阿蘇での植樹祭のテーマは「ひろげよう緑の文化」。来年、大阪府堺市で開かれる第三十七回植樹祭は「都市の未来を緑に託して」。それぞれ創造性豊かで新鮮な「キャッチフレーズ」を掲げている。県も早い機会に活力あふれる佐賀をPRできるテーマを決めてほしい。熊本県の植樹祭を見て、いくつか得るものがあった。広大な阿蘇というすばらしい環境がムードづ

くり大いに役立ったこと。その中でキメ細かい「手づくり植樹祭」といった印象を受けた。例えば参加者が座るイスはすべて木製の「手づくり」。いろいろな表示や看板も木を使っている。一人一人が手にする日の丸の旗は紙と竹。記念植樹に使う移植「テモ」竹。周辺を見渡して木や竹でないのは来賓用のテントぐらい。木のいすや移植「テ」は記念品として持ち帰り、自宅の庭で使えるようにしたのもアイデアだ。

植樹祭の波及効果を広げよう

少年団をつくり「林業後継者」を表彰し出した。天皇陛下のお手植え、お手まきの介添え者も林業後継者としてみどりの少年団代表だった。陛下のおそばでお手植えになった「杉の苗木」に土を寄せる感激は彼ら青少年にとって終生忘れられない思い出となつて残るに違いない。もう一つ感心したのは、われわれ県外招待者を宿舎から会場に運ぶ貸し切りバスの添乗員に農林事務所や普及所の職員が選ばれたことである。作業服姿の職員がトットとした言葉つきではあったが、要所要所で熊本県のよさをきちんと説明した。彼ら技術者にとつてこうしたことは苦手の部類に入らなれないが、これを機会に郷土を知るための勉強ができただろうし、日ごろ農家との対話を通じて、気さくな話法も身につけていく。それを生かそうというわけだった。

テニスが吹き込み、三十分間、熊本PRを聞かせてくれたのも印象深かった。われわれが二年後の第三十八回植樹祭に期待するものその波及効果である。佐賀を売る起爆剤にまず、全県民の間に緑化思想が浸透すること。一万人を超す出席者を通じて佐賀を知ってもらうことである。植樹祭そのものは一種のショーであり、あくまでメイン

は九州横断自動車道の武雄インターが開通する。横断車が佐賀から武雄へ延び、会場の嬉野はじめ有田、伊万里、武雄もその恩恵を受ける。観光開発と宣伝の具体的なプランを早急に練り上げたい。六十二年の植樹祭に続いて翌年、十三年はソウル・オリンピック、佐賀県にとって内、外の観光客を呼ぶ絶好のチャンスである。官民一体となつての観光振興策に注目したい。

植樹祭のものに十五人の専従職員が当たり、そのほか数多くの県職員が二年後に向けて任務に就いているわけだが、生産性を考えれば相当な「持ち出し」である。幸い国や県の予算はそれほど生産性を考えずして執行できる。その利点を生かして、いかに多くのプラン・アルファを生み出していくかが課題である。緑に彩られた豊かな佐賀で県民が自信と誇りを持つて働き、県外からの観光客がふえて佐賀のイメージチェンジができたなら植樹祭の費用なきやいな

(稲田)

AFFAIRES La Lorraine à l'heure japonaise

De notre correspondant Metz. - La Lorraine et la province japonaise de Kumamoto ont décidé, le mardi 3 septembre, d'engager une coopération dans la recherche sur les technologies nouvelles. Cette volonté s'est exprimée à l'occasion du séjour à Metz de M. Morihiro Hosokawa, gouverneur de la province, qui faisait suite à la visite au Japon, en juin dernier, d'une délégation de quotidiens régionaux français conduite par M. Claude Puhl, président du SNPQR (Syndicat national de la presse quotidienne régionale), et directeur du *Republicain lorrain*.

L'objectif que se sont fixé le président du conseil régional de Lorraine, M. Jean-Marie Rausch, sénateur, maire (UDF) de Metz, et M. Morihiro Hosokawa est le suivant : faire de leurs régions respectives des « pôles d'excellence technologique ». Tous deux misent, en effet, sur les technologies nouvelles pour donner un autre souffle aux tissus économiques et industriels locaux. Thomson-Answare, Télémechanique, Bull, Apple, Hewlett-Packard, ont déjà créé 200 emplois sur le technopôle Metz-2000, qui doit en compter

600 à la mi-1987. L'inauguration le mois prochain d'un département de l'Ecole supérieure d'électricité (Supélec) apportera un nouvel atout à ce parc d'activités où doit s'implanter le Centre d'études des systèmes de communication, véritable observatoire de l'évolution des techniques dans ce domaine. Kumamoto a lancé, de son côté, un projet baptisé Technopolis. Après l'arrivée de deux usines du groupe Mitsubishi et d'une unité de production de chaînes robotisées sur mesure, ce technopôle se structure autour de grands axes, telles l'automatisation, l'informatique et les biotechnologies. Une mission d'études d'élus et de chefs d'entreprises lorraines se rendra au Japon en décembre prochain pour resserrer les liens avec des industriels nippons et pour les inciter à venir s'installer en Lorraine. Deux d'entre eux ont déjà décidé de s'y implanter : Clarion (autoradios) à Pompey et Yuko (vis) à Gorcy, en Meurthe-et-Moselle.

J.-C. T.

ENTREPRISES American Motors sera en équilibre

「ロレーヌに対する日本人の関心。熊本県細川知事「メッツ二〇〇〇」のテクノホールを訪問。」という見出しで、アジアの情報資源都市構想や、テクノポリス推進など、同知事の講演を紹介。また、「私たちの（日本一づくりの）目的は、新しいヒューマンライフのモデルを創出すること、単にナンバードンになることではない。」と知事が述べたことも報じています。



細川知事は、フランス地方新聞協会(フランス全土の発行部数の八割を占める)の招待を受けて、九月二日パリ市内の同協会本部で、「新しい地方の時代」をテーマに、地方紙の社主、編集長十九名を前にして、約一時間半の講演を行いました。フランスのル・モンド紙(全国紙)、ロレーヌ地方の REPUBLICAIN LORRAIN 紙等が、九月六日付の紙面で、この講演について報じています。

◆一九八五年九月六日付 ル・モンド紙 「ロレーヌと熊本県は、九月三日に、ニューテクノロジー協定について、相互協力することを決定した。...」

GRANDE REGION La Lorraine intéresse les Japonais M. Hosokawa, gouverneur de Kumamoto visite le technopôle de Metz 2000. Lorraine : un déficit de 160 MF avec le Japon. L'étude de marché : une nécessité.